

2018年2月10日(土) ヤリイカ ^{おきつまる}興津丸 ^{もちむね}用宗港

長潮:旧12月25日 満潮 03:07(102cm) 干潮 07:04(94cm) 満潮 12:43(115cm) 焼津港
ヤリイカ 自分: 6杯 ツレ: 1 2杯

3時30分 用宗港着
4時30分 集合時刻
5時00分 出船
6時30分 石花海着
7時00分 釣り開始

7時04分 干潮(94cm焼津港)
12時43分 満潮(115cm焼津港)
13時00分 納竿
14時30分 現地出発

興津丸 Tel 054-258-3848 船(携帯) 090-3564-5005

【ヤリイカ仕掛け】

① 2018.1.1でヤリイカ用に作製したもの

幹糸6号枝間1.2m 上下0.8m

上下も1.2mがよいと船長から言われた。

投入器を使った手返しの関係から

全長6.4m → 上下も1.2mなら全長7.2m

下80cmは錘が根掛かりしても切れるように80cmの下から30cmは4号にしてサルカンで繋げた。

ハリス4号9cm 5本ヅノ さかな針11cm ダブルカンナ

ブランコ仕掛け 上から、青、透明、浮きスッテ2.5号赤白、ピンク、水色

② 市販仕掛け 下田漁具 ヤリイカサビキ 地元の仕掛け(船内販売もこれだった)

幹糸6号枝間1.2m 全長6.4m 上下80cm

ハリス4号9cm 5本ヅノ ダイヤエース11cm ダブルカンナ

ブランコ仕掛け 上から、青、透明、ピンク、水色、薄紫

おもり 初め120号 その後、150号でもよいとアナウンス 水深220m前後

投入器は借りられる。自作のより取りリングを持参

リーダーを6mくらい付けておいたら、船長よりリーダーは不要と言われた。

【料金】

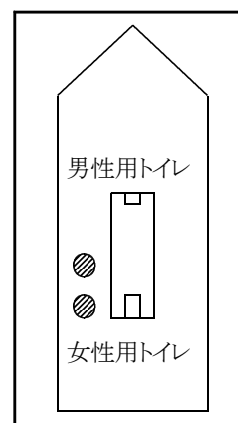
○船代 ¥12,000×2名 (氷付き)

【様子】

○一週間前くらいに予約しようと、2月4日(日)に予約しようと一週間前に電話を入れたら、2月4日(日)も2月11日(日)も一杯と言われた。2月10日(土)なら空いていると言うので、予約を入れた。二週間前でも一杯ということ。

○晴れ。風少々。波少々。下る前日で最高の釣り日和となった。明日なら雨か、雨が上がってれば、強風である。

○釣り座は、船長の指示。左舷胴に入った。艫側(トイレに近い方)をツレが、運転席の下を自



分が座った。

○流し釣りである。石花海は午前7時00分から午後1時00分までが釣り時間と決まっている。

○仮眠室があり、12名が寝ることができる。毛布も用意されている。帰りは服が汚れていることから上の上下は脱ぐ必要がある。帰りにベッドを譲ってくれた人がいたが、服を脱ぐのが面倒だったので、結局、自分たちは往復ともキャビンのイスに腰掛けて寝た。港から釣り場まで1時間30分くらいかかる。

○投入器に使い方を教えてもらった。

① 右手で竿を引き上げて、左手でより取りリングを持つ。

② 竿を竿受けに置き、より取りリングを右手に持ち替える。

③ 右手のより取りリングを高く持ち上げて、下のツノを引き上げて、左手でツノを持つ。

④ 左手のツノを高く持ち上げて、リングを船の中に入れる。同時に左手のツノを右手に持ち替える。

⑤ 右手のツノを投入器に入れる。右手のツノを投入器に入れたら、左手のツノを右手の持ち替える。

⑥ 右手のツノを高く上げて左手で下のツノを捕まえてから、右手のツノを投入器に入れる。

⑦ ⑥を繰り返す。

※竿を引き上げたとき、ちょうどリングが船の中に入る状況で、道糸が巻かれるのを止める。

○水深220m 錘は120号とアナウンスがあった。

○周りが釣れているのに自分たちだけ釣れない。誘い方が分からなかった。

○それでもツレが1杯釣った。浮きスツテ2.5号赤白に掛かった。

○その後、さっぱり。二人ともダメ。船長が魚探を見ながら、真史の竿で誘いを掛けて試みたがだめ。他の仕掛けは持っていないのかと聞かれ、ダイヤエースを持っていると答えると、それに変わった方がよい。船内販売もそれだと言われた。仕掛けを変えることにした。

○ツレが手前祭りをしてしまった。ほどこうとしても難しい。隣の人から、仕掛けを変えた方がよいと言われ、船内販売のダイヤエースを購入した。(後払い¥1,300) 自分が持ってきたダイヤエースと同じ商品だった。

○時間が半分くらい過ぎても、自分たちだけ釣れないので、釣り方(誘い方)を教えに船長がやってきた。「思いっきりしゃくってはダメ。ゆっくり優しくしゃくる。」「急に上から落ちてきて、それを急に誘ったらびっくりするやろ。だから、ゆっくりしゃくらな。」

○船長のアドバイスと隣の人釣りの方を見て、誘い方を決めて釣ることにした。

○結局、自分の釣果は1杯、2杯、1杯、2杯の合計6杯となった。今日はボウズかと覚悟していたが、6杯釣れて良かった。

○終了近くになり、ベイトカイカの移動速度が速いことから、おもりは150号でもよいとアナウンスがあった。150号に変えてみた。重い。ヒットなし。

【釣り方】

基本的には底付近にヤリイカがいる。

① 着底したら、糸ふけをとってゆっくりあおって止める。「ふわ〜とあおる」

② 掛かっているか待つ。掛かってこないか待つ。もう少し待つ。

③ 竿を下に戻しながら、道糸を巻く。もう一度、ゆっくりあおって止める。

- ④ 掛かっていないか待つ。掛かってこないか待つ。もう少し待つ。
- ⑤ 竿受けに竿を置く。(手持ちでやってもよい)
- ⑥ 50cmから1mくらい、電動リールでジーツと巻いて待つ。これを繰り返す。(底から何mかな)
- ⑦ 釣れなかったら、20～30m巻き上げて、①から繰り返す。

※投入して着底するとき、着底したときに掛かることが多かった。

※当たりがあつたら、3mくらいはゆっくり巻いて、追いが掛かりをさせる。

※電動リールの巻きスピード イカが乗っているときは20くらいで
仕掛けの回収はMAXで

ツレ 25で巻いていたら速いから、もっとゆっくりでと言われたので20にした。

自分 14で巻いていたらツレから遅いねと言われた。その後、16や18でやった。それでも遅いと感じていた。ツレと自分とはリールが違うがどちらもシマノ製である。

【次回】

○「石花海のヤリイカは、10月が肉厚で甘くておいしい。10月に来て。」と言われた。

○東名高速ではなく、第2東名を利用する。

○親切な興津丸にするか、女性割引のあるシンセイ丸(清水港)にするか。

用宗港	興津丸	¥12,000	2時間11分(ナビより)	氷付き
清水港	シンセイ丸	¥12,000(女性割引あり)	2時間21分(ナビより)	氷付き

2017年9月23日 購入

シマノ 電動リール ビーストマスター3000XP